



私のウガンダ生活について～電気編～



こんにちは。日本は本格的な冬になってきたことと思います。私のいる学校は12月1日に今年度が終わり、現在長期休みに入っています。来年度の始まりはなんと2月22日！来年2月に大統領選挙がある影響で、始まりが遅れるようです。今回は前回に引き続き、私のウガンダ生活での電気事情について紹介します。

停電にならない日は1年に数回程度



日本ではどこにいても停電の心配はないと思います。停電は災害などで1年に数回、10回もあれば多い方でしょうか。私のいるウガンダではそうはいきません。首都カンパラでは比較的安定していますが、私の住んでいるブシュニでは停電にならない日の方が珍しいです。停電の時間もまちまちで、5分程度で復旧することもあるれば、丸1日戻らないこともあります。私は最長1週間ほど電気がなかった時があり、電気が戻った時はとても感動しました。停電で、さらに水道も止まると本当に落ち込みます。



学校のパソコンはデスクトップ型のため・・・



私の職種はPCインストラクターです。学校にいる時は基本的にパソコン室にいて作業しています。学校には50台ほどのパソコンがあり、すべてがデスクトップ型です。デスクトップ型のパソコンはバッテリーが内蔵されていないため、停電になるといきなり電源が切れます。復旧するとエラーメッセージとともに立ち上がります。これが1日に何回も繰り返されるため、故障やトラブルも多いです。コンピュータウイルスのスキャン中に停電になり、1台スキャンし終えるのに丸1日かかることもあります。インターネット環境もありますが、遅いためダウンロードに時間がかかったり、ダウンロード途中で停電で1からやり直しになったりします。全然計画通り進みません。

停電時でも自家発電機で電気を起こせる💡

停電時でもパソコンの実技の授業の時やイベントなどで電気を使いたい時には自家発電機を使用して電気を起こします。自家発電と言えば「太陽光発電」を思い浮かべる人がいると思いますが、こちらでいう自家発電機はガソリンを使ったエンジンタイプの発電機です。**ジェネレーター**と呼ばれています。日本ではお祭りの屋台などで使われていると思います。

ウガンダでは学校だけでなくお店や病院でも使われています。この自家発電機はいつでもどこでも燃料さえあれば使うことができます。ただ騒音などかなり大きく、当然ですが燃料がなければ使うことができません。

参考：Honda | 発電機 <http://www.honda.co.jp/generator/#select02>

Kindle が大活躍！



私は日本から Kindle Paperwhite という電子書籍リーダーを持ってきました。Kindle Paperwhite はスマホやタブレットのバックライトのように目に向けて光を当てるのではなく、ディスプレイの表面を照らすので目が疲れにくいです。充電も1度するだけで数週間は持つので電池の残量も気になりません。明るさを調整でき、バッテリー長持ちなので停電の多いウガンダでとても重宝しています。キンドルストアでは頻繁にセールを行っていますし、読みたい本がウガンダからも発売日に1クリックで買えます。便利な世の中になりましたね。



モバイルバッテリーや LED の懐中電灯も重宝します。



あとがき

私の家には冷蔵庫がありません。ウガンダに来て1年半、冷蔵庫がない生活にも慣れました。冷たい飲み物は週末の楽しみの1つです。私の家のトイレは外にあるので、停電の夜はトイレに行くのも一苦勞ですが、空一面に広がった星空はとてもキレイで、つい見入ってしまいます。

